

平成25年2月2日（土）

平成24年度在宅医療連携拠点事業活動状況

長野県 松本市

社会医療法人財団慈泉会

地域在宅医療支援センター

松本市の概要



- 長野県の中心部に位置する（中信地方）
- 人口 約24万人（H23年度）
- 高齢化率23.7%

その他の背景

- 松本城・上高地など観光地が多い
- サイトウキネンフェスティバル
平成中村座 まつもと歌舞伎の開催



松本市地域包括
支援センター

中央包括

南東部包括

北部包括

東部包括

四賀部包括

河西部包括

南西部包括

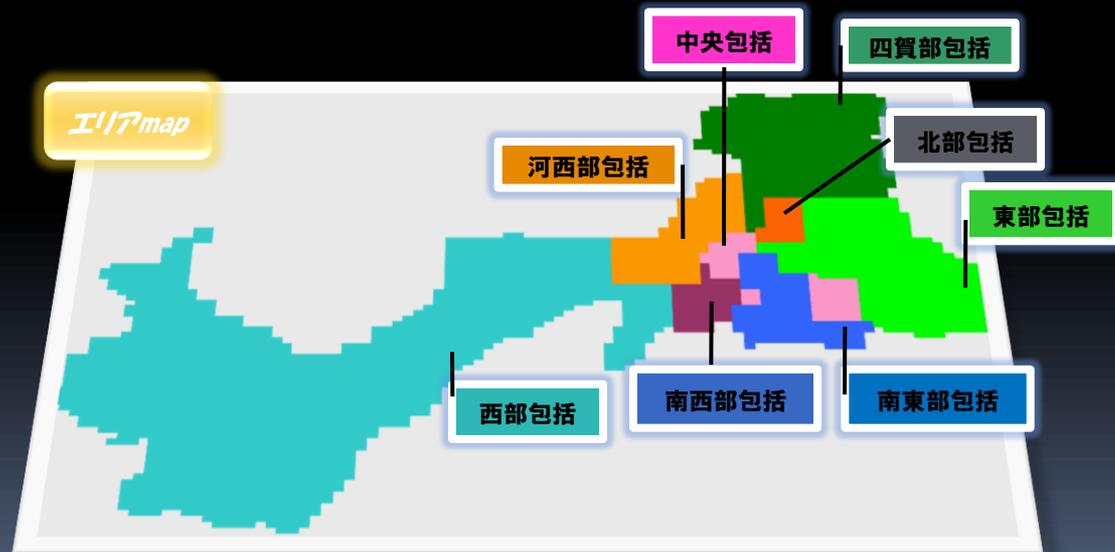
西部包括



MATUMOTO CITY

松本市公式ホームページ
くるくるねっとまつもと
www.city.matsumoto.nagano.jp

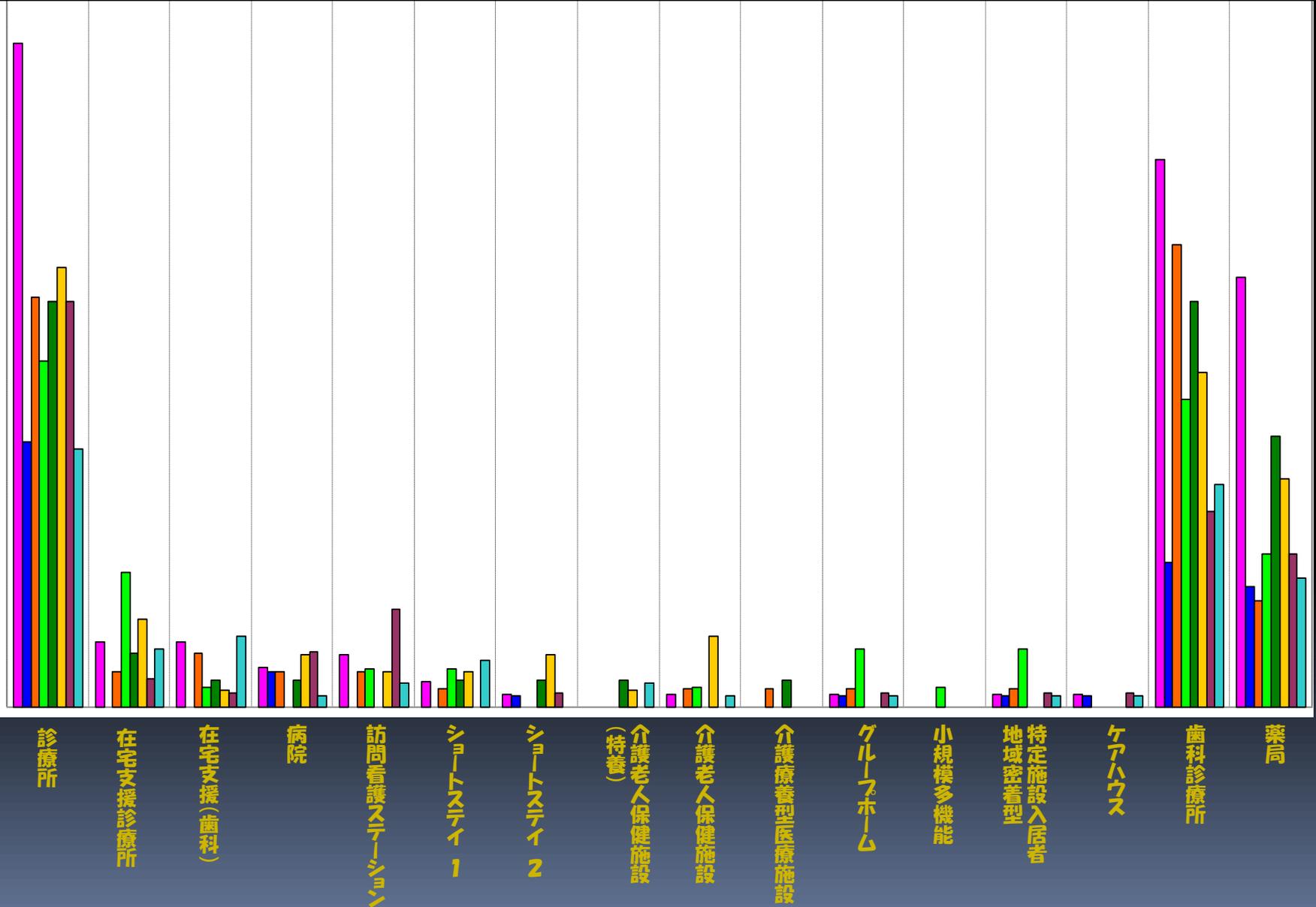
担当地区	センター名	電話	FAX	住所
第1、中央、白板、田川、横田、中山	中央地域包括支援センター	34-3237	36-9119	丸の内3-7(市役所内)
庄内、寿、寿台、内田、松原	南東部地域包括支援センター	85-7351	85-7353	寿中2-20-1(真寿園内)
城北、城東、本郷	北部地域包括支援センター	34-8511	34-8512	元町3-7-1(ふくふくらいず内)
第2、第3、東部、入山辺、里山辺	東部地域包括支援センター	36-3703	36-3704	里山辺910-1(うつくしの里内)
安原、岡田、四賀	四賀部地域包括支援センター	64-3114	64-2933	会田1001-1(四賀支所内)
島内、島立、新村、和田	河西部地域包括支援センター	48-6361	48-6362	島内4970-1(島内公民館内)
松南、笹賀、芳川	南西部地域包括支援センター	27-5138	27-5139	双葉4-16 (総合社会福祉センター内)
神林、今井、安曇、奈川、梓川、波田	西部地域包括支援センター	78-3004	76-1070	梓川梓2288-3 (梓川保健センター内)



施設:人口1万人対比

- 人口
- 中央包括 36,002人
- 南東部包括 39,000人
- 北部包括 26,344人
- 東部包括 24,421人
- 四賀部包括 17,355人
- 河西部包括 26,626人
- 南西部包括 33,548人
- 西部包括 40,017人

- 中央包括
- 南東部包括
- 北部包括
- 東部包括
- 四賀部包括
- 河西部包括
- 南西部包括
- 西部包括



地域の特性

- 長野県下4地区：北信・中信・東信・南信

中信はまとまりにくい

- 大学病院を始め、中規模病院 9か所
(精神科病院除く)

うち7か所の病院で複数の介護保険事業所を有する

**7月中旬追加採択を受け、
他事業体より遅れてスタート**

活動状況 1

- 8月～9月関係機関へモデル事業についての説明のため訪問
 - 行政関係機関：松本市高齢福祉課・松本保健福祉事務所
 - 地域包括支援センター 8か所
 - 松本医師会
 - 長野県看護協会及び同松本支部
 - 松本市薬剤師会
 - 松本市介護保険事業者協議会
 - 長野県難病相談・支援センター 等々

活動状況 1

- 10月松本市ケアマネ勉強会にて、
本事業の説明および現状把握と課題抽出

参加者：110名

内容：事業説明

グループワークを実施

グループワークの内容をKJ法を用いて分析

ここまでで、見えてきた課題 1

- 行政関係は、年度当初に計画されたもので活動するため、協力が得られにくい
- 地域包括支援センターでは、介護保険業務に追われ、本来の地域包括の動きが少ない→地域ケア会議の開催はない
- 地域によって温度差がある
- エイズ・難病・障害者など同じような取り組み・活動がある

ここまでで、見えてきた課題 2

- ケアマネ勉強会から
- ✓ 病院間の連携：情報共有の遅れ
システムがわからない
気おくれがする
- ✓ 事業所との連携：個々の力量に差がある
へき地への対応が不足
精神科疾患での連携
- ✓ 医師との連携：往診医が少ない
医師間の連携
医師によっては暗黙裡のきまりがある
- ✓ 地域：相談窓口が明確ではない
資源の共有不足
地域住民への啓蒙不足（特に終末期ケア）

活動状況 2

■ 地域の在宅医療・介護従事者向け

スキルアップ研修の開催

✓ 多職種連携に向けての呼吸ケアの基礎

神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域 石川朗先生

H24年12月8日（土） 参加者：52名

✓ 認知症の病態・症状の理解

ミサトピア小倉病院 副院長 岸川雄介先生

H25年1月16日（水） 参加者：120名



活動状況 2

- 松本保健福祉事務所と共同主催
難病等在宅療養支援関係者研修会

「医療度の高い療養者の在宅支援について」

第1回「医療度の高い療養者の在宅療養支援について」

H25年2月5日

第2回「医療度の高い在宅療養者の災害対策」

H25年2月26日

第3回「在宅への移行について」 H25年3月19日

*現在参加者予定数 100~160名

共催・後援：松本市 松本市医師会 長野県看護協会
長野県難病相談・支援センター等多数

活動状況 2

- 地域包括支援センターにて地域ケア会議開催
2月~3月
8か所のうち3か所の会議に参加予定
- 医療資源マップの修正
1月よりアンケート実施
- 相談業務の開始：制度面3件 入院支援2件
サービスプラン 1件
連携 1件
- 大学病院での退院支援勉強会で在宅ケアの紹介
また、共同にて継続看護について考える会を開催
- 訪問看護ステーション向け衛生材料の小割販売

まとめ

- 今年度は、4カ月遅れのスタートで活動の種をまくレベルの活動となった。さらなる啓蒙活動が必要
- グループワークのある研修会への参加数が激減する・・・今後の参加促進の課題
- 訪問系サービスの参加者数が少ない

他機関・他事業との共同開催等の連携を図りながら、今後も推進していきたい